

ヤマビルの被害を防ぐために

☆☆☆ 観光客、登山者、ハイカーの皆さんへ ☆☆☆

1 ヤマビルを見つけたら

ヤマビルを見つけたら、定着して繁殖しないように、すぐに身近なものを使って駆除しておきましょう。

(注) ヤマビルは、靴で踏みつぶすだけでは死にません。



消毒用エタノールや塩、食酢、殺ヒルスプレー等をかける

塩入容器にヒルを入れて殺す



ハサミで切る



たばこやライターの火で焼く
(火傷や火災に注意)

2 吸血されたら

① ヤマビルを取り除く。

吸盤を剥すようにして、爪でこそげる。
塩や消毒用エタノールなどをヒルにかけて除去。

② 取り除いたヤマビルを殺す。(吸血したヒルは産卵をして増えてしまうから)

塩や消毒用エタノールなどをかける。
殺ヒルスプレーや虫よけスプレーをかける。

③ 傷口を指でつまんでヒルの唾液成分を搾り出し、消毒用エタノールや水で洗う。(治りが早い)

④ 絆創膏を貼って、血が流れるのを抑える。
(抗ヒスタミン剤などの軟膏をぬっておくと、かゆみが抑えられる。
2～3時間ごとに貼りかえるとよい。)



※症状が続き発疹や熱が治まらない場合は、皮膚科の医師に相談しましょう。

3 吸血予防のために

ヤマビルに吸血されないためには、靴下や長靴を用意するとともにヤマビルがもぐり込む服装のすき間をなくし、靴や靴下などの足まわりに忌避剤を一面に塗布しておけば、ヤマビルの侵入を防ぐことができます。

<活動時期>

吸血行動が活発に見られるのは4月から10月で、特に気温が25℃前後で湿度70%程度の6月から9月ごろには地表にヤマビルが多く見られるので、注意が必要です。

<服装>

- ① 長靴や地下足袋などを履く（サンダル、運動靴などは吸血されやすい）。
- ② 靴下は、長いもの、生地が目細かいものを履く。
- ③ ズボンの裾を靴下の中に入れる。上着の裾をズボンの中に入れる。
- ④ 首や肩周りに、忌避剤をつけた手ぬぐい等を巻く。

<忌避剤>

塩水（濃度20%）や市販の忌避スプレーなど

忌避剤の使い方



問い合わせ先：

相生市 建設農林部 農林水産課

〒678-8585

相生市旭一丁目1番3号

電話番号 0791(23)7156